

令和4年度 松本市公民館主事会 事業報告

1 公民館主事研修会

公民館主事研修会として全 22 回開催し、延べ 613 人が出席した。各回の内容は次のとおり

回	日時・会場	出席者	研修内容
1	4/14(木) 13:30~17:00 中央公民館	45	<p>テーマ：令和4年度 公民館主事会の運営等及び研修計画について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育長あいさつ（伊佐治教育長） 2 令和4年度中央公民館重点目標について（石川中央公民館長） 3 協議事項・役員選出 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度役員の選出及び事務局の任命 (2) 令和3年度主事会事業報告及び会計報告 (3) 令和4年度公民館主事会の運営等について 4 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中央公民館事務分担表について (2) 令和4年度予算について <ol style="list-style-type: none"> ア 公民館管理運営費 イ 公民館講座事業費 ウ 公民館職員のための会計事務の手引き (3) コミュニティスクール事業 (4) 町内公民館振興業務委託料について (5) 公民館委員報償費について (6) 防火管理講習について (7) 令和4年度 松本市小中学校環境教育支援事業について (8) ホームページ「地区の情報」への配布物データ掲載について (9) 全国市長会市民総合賠償補償保険について (10) 公民館総合補償制度対応手順について (11) 長野県公民館主事研修会・総会について
2	4/下旬 ブロック研修会	35	<p>テーマ：今年度の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案</p> <p>各ブロックでそれぞれ担当する回の主事研修会の企画を検討する。</p>
3	5/12(木) 13:00~17:00 中央公民館	30	<p>テーマ：「主事同士のつながりづくり」「コミュニケーションスキルの向上」について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目的 主事会のチームビルディング 2 事務連絡・協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 『世界の料理いろいろ』の紹介・配付について（日本語学習サロン日本語いろいろ） (2) 主事会プロジェクトについて（事務局 平林） (3) 令和4年度長野県公民館運営協議会事業について（浅井県公運協理事） 3 研修 「主事同士のつながりづくり」「コミュニケーションスキルの向上」について 4 10分間情報発信（安原地区）
4	5/26(木) 13:30~17:00 中央公民館	25	<p>テーマ：「貸館の基礎を学ぶ」、「お悩み相談会」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 研修趣旨 <ol style="list-style-type: none"> (1) 背景 社会教育施設である公民館は、関係法令、条例等に基づき貸館の判断を行っている。人事異動に伴い1～2年目の主事や公民館職員も多く、貸館の判断に迷うケースも散見される。多様な主体に対し、貸館・減免の判断を適正に行う必要がある。孤独になりがちな主事たちの悩みや課題を共有する場が定期的に必要な (2) 目的 貸館の基本となる関係法令や条例を読み解き、公民館の歴史や役割を理

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>解するとともに、過去の判断資料などから適正な貸館判断が出来る主事を目指す。</p> <p>年度初めに疑問が生じた主事たちの悩みの共有の場を提供し、解決策などを自館で活かせる主事を目指す。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 参議院議員通常選挙及び長野県知事選挙に関する個人演説会の対応について(選挙管理委員会事務局)</p> <p>(2) スマホ教室開催に係るご提案(松本地域シルバー人材センター)</p> <p>(3) 令和4年度の青山様・ぼんぼんについて(こども育成課)</p> <p>(4) 令和4年度松本市出前講座「いい街つくろう!パートナーシップまつもと」について(生涯学習課)</p> <p>(5) 庁用バスの予約について(幹事会)</p> <p>3 10分間情報発信(芳川地区)</p> <p>4 研修</p> <p>(1) 研修① 関係法令・貸館について</p> <p>(2) 研修② ア グループワーク 貸館ロールプレイング イ ブロックごとに座談会お悩み相談タイム</p>
5	6/9(木) 13:30~17:00 里山辺公民館	32	<p>テーマ：効果的な広報及び公民館のDX推進実務</p> <p>1 研修趣旨</p> <p>(1) 背景</p> <p>第11次基本計画の重点目標の一つのDX推進について、公民館のデジタル化が急務と考えられるが、実施状況については各館でのばらつきが出てしまう。また、新ホームページ開始に伴い、より効果的で、ユーザー目線のホームページを提供する必要がある。</p> <p>(2) 目的</p> <p>研修を通してユーザー目線の多角的な情報提供を積極的に行えるようにする。また、動画による効果的な情報発信について学ぶ機会とする。</p> <p>2 公民館長あいさつ(里山辺公民館 小幡館長)</p> <p>3 研修① 新ホームページ利用研修</p> <p>新ホームページの仕様に合わせたページ作りについて</p> <p>効果的な情報提供について、質疑応答</p> <p>(福泉株式会社東京支店支店長 荻原信彦 氏)</p> <p>4 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 地域映画制作に向けた市民が所有する8mmフィルム収集の周知について(まつもとフィルム commons)</p> <p>(2) スマホ講座・デジタル活用支援員育成研修実施について(DX推進本部)</p> <p>(3) 講座の企画・決裁及び講師謝礼支払い帳票への添付資料について(中央公民館)</p> <p>(4) 出前講座のLoGoフォームでの受講報告について(中央公民館)</p> <p>5 研修② 「動画で伝える」</p> <p>事前学習：塩尻東公民館 YouTube チャンネル</p> <p>(1) 塩尻東公民館 Web 講座を始めたきっかけ</p> <p>(2) 動画作成のハードル、日中の業務との比重について</p> <p>(3) Web 講座実施の反響、今後について</p> <p>(塩尻市中央公民館 安藤主事、塩尻東公民館 林主事)</p> <p>6 10分間地区情報発信(入山辺地区)</p> <p>7 新里山辺公民館施設見学</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
6	6/23(木) 13:30~17:00 安原地区公民館	27	<p>テーマ：実践から学ぶ防災</p> <p>1 研修趣旨</p> <p>(1) 背景 昨年、多くの公民館が豪雨災害により避難所を開設する状況となり、今後も豪雨や地震などによる災害によって、公民館が避難所となる可能性は十分にあることから、主事が避難所運営に携わることは避けられない。 また、自身の館の防災備品がどこにあり、どう使うのか、分からない職員も多いと思われる。</p> <p>(2) 目的 防災備品の組み立てや操作方法を実際にやりながら覚えるとともに、避難所運営ゲームを体験することで、災害が起きて公民館が避難所となった際に、主事がどう行動したらよいのか考えることを目的に開催する。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 地区行事や公民館事業におけるマイナンバー出張申請の実施協力について（市民課）</p> <p>(2) 令和4年9月開始予定のキャッシュレス決済・オンライン決済について（中央公民館）</p> <p>3 研修 実践から学ぶ防災</p> <p>4 10分間情報発信（城北地区）</p>
7	7/7(木) 松本城、中央公民館	26	<p>テーマ：松本城世界遺産登録に向けて</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 松本市のシンボルであり松本市民の宝である松本城は、松本市総合計画で世界遺産登録の推進が掲げられている。また、「国宝松本城」推進実行委員会では、市民と行政による世界遺産登録に向けた取組みが進められている。しかし、そもそもなぜ世界遺産登録を目指しているのか。現在どのような取組みが行われているのか。私たちが知らないことは多く、共通の価値や意識を持つ必要がある。</p> <p>(2) 目的 松本城を研究専門員の案内で見学するとともに、松本城の世界遺産登録に向けての取組みの現状や目的、登録するための方法等について学習し、松本城や世界遺産への関心を高める。 また、各地区の文化的遺産について改めて目を向ける機会としたい。</p> <p>2 研修</p> <p>(1) 松本城見学 ※研究専門員（文化財課城郭整備担当）による案内 ※3グループに分かれ見学</p> <p>(2) 松本城世界遺産登録に向けて 文化振興課（桑島課長補佐）</p> <p>3 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 公民館職員の資質向上に係る人事提案について</p> <p>(2) 公民館主事会費の用途について</p> <p>(3) 第13回主事研修会の日程変更について</p> <p>4 10分間情報発信（島内地区）</p>
8	7/21(木) 13:30~17:00 中央公民館	22	<p>テーマ：講座を企画してみよう！</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 公民館講座は主事が主体となって進めることが多く、主事一人に判断を委ねられる機会もある。ゆえに企画立案に不安を感じ、どのようなプロセスを踏んで講座を企画すればよいのか悩む主事も多い。また、経験年数が長くなるにつれ、視野が固定化しやすく、新しい講座の企画に苦慮する主事も少なくない。</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>他の主事の意見を聞くことで、多角的な視野を持ち、「人を集め 場をつくる」企画力を養う必要がある。</p> <p>(2) 目的 模擬講座の企画をしながら、他の主事がどのような進め方をしているのかを学び、アイデアを共有することで講座企画力を養う。 また、グループワークで様々な経験年数の主事の意見を聞くことで、多角的な視野で企画する力を身に付け、講座企画に役立てる。</p> <p>2 事務連絡・協議事項 (1) 公民館の使用状況に関する調査の報告について(松本大学教育学部大蔵准教授) (2) 実施計画第53号の資料共有(中央公民館) ア 松本版コミュニティスクール事業 イ デジタル技術を活用したつながりの場創出事業 ウ デジタル社会で活躍する地域づくりリーダー育成事業 (3) 第70回長野県公民館大会の開催</p> <p>3 研修 ① 導入・趣旨説明 ② グループワーク ～模擬講座企画～ 模造紙作成 ③ パネル掲示 各グループの模造紙を見ながらワークシート記入 ④ グループディスカッション</p> <p>4 10分間情報発信(第三地区)</p>
9	8/上旬 ブロック研修会	35	<p>下半期の研修テーマについて検討 日常の業務相談</p>
10	8/25(木) 13:30～17:00 乗鞍高原、ふれあい パーク乗鞍	29	<p>テーマ：持続可能な地域づくりを考える</p> <p>1 趣旨 (1) 背景 時代の流れや社会状況の変化が著しい現代社会において、次の時代へと歩みを進める持続可能な地域づくりが求められている。 (以下、第3次松本市地域づくり実行計画より) 「地域づくり」とは、「安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築するため、市民が主体となって地域課題を解決していく活動や取組み」(「松本市地域づくりを推進する条例」第2条第1号)のことをいい、その取組みには、①地域力の向上を図る取組みと、②地域課題の解決を図る具体的な取組みの2つがある。</p> <p>(2) 目的 ア のりくら高原ミライズ(※)を共通の価値観として、持続可能な地域づくりが動き出した乗鞍高原で、その活動の一部に触れるもの。 イ 第3次松本市教育振興基本計画(案)の特徴の一つとなっている「遊びや体験の重視」を体感すると同時に、従来の考え方に捉わられることなく、柔軟に対応していく視点を養うもの。 ウ 「ゼロカーボンパーク」の国内第1号に登録された乗鞍高原で、ガイドから地域の取組み等の説明を受けながら散策することで、国を巻き込んだ取組みが進められている地域であることを認識するとともに、各地区の公民館講座企画検討の材料とするもの。</p> <p>※ 乗鞍高原が直面している課題、持続可能な地域づくりのあり方(目指すべき姿)、今後の具体的な取組みについて記載した地域ビジョン。行政(国)がコーディネーターとなり、地元関係者を交えたワーキング等を通じて整理を行い、令和3年3月に作成された。 (一社)アルプス山岳郷が地元住民と行ったワークショップ及びアンケート調査を元に作成した「乗鞍地区の未来へ」という地域住民の思いをまとめた地域の共同概念がベースとなっている。</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			2 事務連絡 (1) 乗鞍高原散策(講師 リトルピークス) (2) 講義 (会場 ふれあいパーク乗鞍) 3 10分間情報発信(笹賀地区)※資料配布のみ
11	9/8(木) 13:30~17:00 中央公民館	32	人が集まる！公民館の事業企画・広報 1 研修趣旨 (1) 背景 講座・イベントを開催しても、人が集まらない、参加者が固定化しているなど、集客に苦慮する事例は多い。公民館事業の価値は集客数だけで決まるものではないが、公費で開催する事業として、また町会配布物としての広報の費用対効果の観点から、事業の効果が多くの市民に波及するように、人が集まる・興味を持つ企画・広報が求められている。 (2) 目的 「事業の目的は何で、どんな人に参加してもらいたいのか。そのためにはどうしたら良いか。」という根本的な問いに立ち返り、事業の企画段階から広報まで、人が集まる・興味を持つ公民館事業を開催する方法について学ぶ。 また、地域課題の啓発や解決などを目的とした(一見して集客が少なそうな)事業について、多くの人に参加し、興味を持ってもらう方法を学ぶ。 2 研修 (1) 講義(講師:NPO法人 男女共同参画おおた 理事長 坂田 静香) (2) ワークショップ 3 事務連絡 (1) 公民館主事の人材育成と人事について (2) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い(第38回公民館研究集会)について (3) 各地区における三九郎の実施について 4 10分間情報発信(松南地区)
12	9/29(木)・30(金) 上田市交流文化芸術センター、上田市文化センター	23	第70回長野県公民館大会 1 全体会 (1) 研修会 「文化財を活用した地域の魅力発信～上田市とその関連史跡を中心に～」 講師:上田市教育委員会生涯学習・文化財課上田城跡整備担当 政策幹 和根崎 剛 氏 (2) 講演会 「すべての人々の幸せづくり～人生100年公民館」 講師:尚絅学院大学 教授 松田 道雄 氏 2 分科会 9分科会
13	10/6(木) 13:30~17:00 内田公民館	20	テーマ:ロゲイニングで地域を知ろう! 1 趣旨 (1) 背景 地域を知り、関心を持つことで地域への愛着が育まれるが、新しい世代、他の地域から来た人が地域について知る機会が減少している。また、文化財等の地域資源の活用に悩んでいる地区は多い。幅広い世代が地域を知る機会の創出は、地域づくりを担う公民館に求められている役割の一つだと考えられる。 (2) 目的 研修を通して、「第3次松本市教育振興基本計画(案)」で重視されている遊びと体験を意識した内容で地域を知る手法の一つを紹介したい。またロゲイニング体験、情報共有により、主事同士のつながり作りを目指す。 2 公民館×図書館コラボ企画「知る!見る!考える!地域のタカラ」報告 3 研修

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(1) ロゲイニング (2) 地域学習の工夫(ツール) 4 事務連絡 (1) 松本市町内公民館館長会研修動画の作成について (2) まちづくりの集い分科会世話人について 5 10分間情報発信(内田地区)
14	11/10(木) 13:30~17:00 城北公民館	20	テーマ：町内公民館館長会との連携／地域に住む外国籍の方との関わり 1 趣旨 (1) 背景 コロナ禍で町内公民館活動が停滞するなか、引継ぎ不十分や相談相手がないなど不安に感じている町内公民館長が多く見受けられる。町内公民館館長会の開催頻度も影響して、地区公民館主事に相談する選択肢を持たない町内公民館長が増えているため、主事との関わりが希薄になっている。 また、松本市には、総人口の約1.6%にあたる3,984人の外国籍の方が暮らしている(令和4年10月1日時点)が、地域で暮らす外国人に対する認知度は低く、公民館活動との直接の結びつきも薄いのが現状と思われる。公民館主事の中でも、どう関わりを持ったらいかが分からないというのが正直なところではないだろうか。 (2) 目的 研修を通して地区公民館主事との関わりを再確認することにより町内公民館活動の活性化につなげていきたい。同時に地区公民館主事も町内公民館について学ぶきっかけを作り、上下関係ではなく、地域づくりという同じ目的に向かっているパートナーという関係を目指したい。 公民館活動の対象には、当然外国籍の方も含まれていることから、まずは主事自身が外国籍の方との関わり方、多文化共生について学び、そこから各地域で実際に何ができるかを考えるきっかけとなることを期待する 2 公民館長あいさつ(城北公民館長) 3 研修 (1) 研修① 町内公民館館長会との連携 ア 館長会研修用DVD視聴 イ 館長会三役との意見交換 (2) 研修② 地域に住む外国籍の方との関わり (講師：人権共生課 梶山 直樹 主任) 4 事務連絡 (1) YouTube松本市公民館公式チャンネルの運用開始について (2) 現金決済のPOS処理について(12月開始予定) (3) 令和5年度 第63回関東甲信越静公民館研究大会の動員について (4) 令和4年度長野県公民館主事研修会(兼第16回主事研修会)について (5) 松本市芸術文化祭(事務局 中央公民館)について 5 10分間情報発信(中央地区)
15	11/24(木) 13:30~17:00 松本市美術館	27	テーマ：美術館と地域のかかわり～もっと美術館を活用しよう！～ 1 趣旨 (1) 背景 地域住民の教養の向上を図ることから各地区で学術・文化に関する事業を実施しているが、「美術」をテーマにした事業は公民館職員に知識・関心がないと企画に苦悩し、講座やイベントへと発展しにくい。 主事自身が実際に現地を見学することで知識を養い、新しい視点から講座やイベントを考えるきっかけづくりとする。 (2) 目的 今年度リニューアルオープンした松本市美術館の学芸員から成り立ちや展示品、地域住民とのかかわりに対する思いを学び、実際に見学することで知識・関心を高め、今後の事業の参考とする。 また、美術館の学芸員と顔見知りになることで、講座の企画・運営等に

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>ついて相談し合える関係を築く。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 現金決済のPOS処理12月開始について</p> <p>ア 関係課最終打合せ(11月28日)</p> <p>イ マニュアルは、DX推進本部から月末に庁内周知の予定</p> <p>(2) コピー機及び印刷機使用料の収納事務の変更について</p> <p>(3) 令和4年度社会教育主事講習B講習受講者について</p> <p>3 研修</p> <p>(1) 「美術館と地域とのかかわりについて」(講師 松本市美術館 武藤補佐)</p> <p>(2) グループディスカッション</p> <p>(3) 館内バックヤード見学(グループごと)</p> <p>(4) 常設展・企画展見学(各自)</p>
16	12/8(日) 13:00~16:40 塩尻市レザンホール、塩尻市総合文化センター	28	<p>令和4年度長野県公民館主事研修会</p> <p>1 全体会(基調講演・意見交換) 防災・減殺の地域づくり~公民館の果たす役割とは~</p> <p>2 分科会 4分科会</p>
17	12/22(木) 13:30~17:00 中央公民館	21	<p>テーマ:地域の歴史的文化遺産を活用した取組みと社会教育・主事の役割ー地域づくりの土壌となる「人・活動」+「自治・主体性」ー</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景</p> <p>松本市の地域づくりシステムにおいて、社会教育機関としての公民館が担う教育活動(実践・講座等)は、地域の土壌づくりとも言える「人と人」「人と活動」をつなげて「自治や主体性」を培う重要な役割を持つ。</p> <p>また、本年7月に主事研修会で取り上げた「世界文化遺産」とは異なり、本市の文化財課で進める「まつもと文化遺産制度」は、単に「地域の歴史的文化遺産の整備・保全・活用」を目的とするものではなく、「取組みを進める主体的な活動主体が地域にあること」や「取組みが地域づくりへつながっていくこと」を大切にしている。つまり、社会教育機関以外の部署が、明確に地域づくりを視野に入れた取組みを進めており、そのためには社会教育・公民館が「人材発掘や育成」「自治を持った地域社会形成」を、教育活動を通じて進める必要性が高まっていると考えられる。</p> <p>(2) 目的</p> <p>ア まつもと文化遺産制度の取組み概要を学び、事業の目的・効果等から他課から向けられる社会教育(公民館)への視点を押さえるとともに、各地域への広がりへもつなげたい。</p> <p>イ 島内地区の地域情報発信やまつもと文化遺産制度の取組みについて押さえながら、社会教育の視点からも捉えなおす。さらに、地域の土壌づくりとなる公民館の教育活動において、社会教育・主事としてどのような役割があるのかを紐解くことで、公民館主事としての役割を再認識することにつなげたい。</p> <p>ウ 前段の研修を踏まえながら、グループワークを通じて、各地域を捉えながら活動を進める上で「主事として持ちたい視点」「主事として各事業へ取組む意味を捉える視点」に気づくようなきっかけにつなげたい。</p> <p>2 公民館長あいさつ</p> <p>3 研修</p> <p>(1) 研修①「地域の歴史的文化遺産を活用した取組みと社会教育・主事の役割ー地域づくりの土壌となる“人・活動”+“自治・主体性”ー」 島内公民館 上嶋秀俊 主査</p> <p>(2) 研修②「まつもと文化遺産制度の取組み」 文化財課 小林一成 主査</p> <p>4 事務連絡</p> <p>(1) カタログポケットの普及等について(秘書広報室)</p> <p>(2) 地区公民館における放課後の居場所の創出について(中央公民館長)</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(3) 地域づくりセンター長の教育委員会事務局課長の兼務にかかる令和5年度行政改革について（中央公民館長） (4) 新庶務事務システムについて（中央公民館） (5) マイナンバーカードの取得について（中央公民館長） (6) 令和5年度プラチナ大学受入れについて（事務局） (7) 貸館判断について（公民館主事会）
18	1/12(木) 13:30～17:00 中央公民館	26	テーマ：デジタルでつながる多様な交流 1 趣旨 (1) 背景 第11次基本計画の基本施策7分野（別紙）のうち1～3の分野について、デジタルによる繋がりから老若男女・障がいの有無等に囚われず交流することが、持続可能な社会づくりに必要となると考えられるが、その一つの手段としてeスポーツによる実践事例から学べることはないか。 (2) 目的 研修を通して、地域内での高齢者の運動の場の提供、世代間や障がいの有無によらない交流の可能性を学び、課題を克服する手段について考える。 2 研修 (1) 研修① 実践事例研修 北部包括支援センター職員と本郷地区生活支援員による取組み （講師：北部包括支援センター 小澤光竜） (2) 研修② eスポーツ体験会 Nintendo Switchを利用したeスポーツの体験 (3) 研修③ まとめ 研修①、②を受けてのグループディスカッション 3 事務連絡 (1) 令和5年度プラチナ大学受入れについて（事務局） ブロックごと1館受け入れ。ブロック内で来年度当初に選定し、4月中に社協へ報告 (2) 地域映画「まつもと日和」上映会周知等の協力（中央公民館平林）
19	1/26(木) 13:30～17:00 中央公民館	26	テーマ：動画作成を学ぼう！ 1 趣旨 (1) 背景 DXの推進に向け全庁的に対応が進められている中、住民の拠り所とされる公民館は、主に若年層への情報提供の手段として、これまで以上にデジタルを活用していくことが重要とされている。公民館公式YouTubeが開設された今、動画の作成や編集に係る能力は必須と言える。 また、松本市の公式ホームページは令和4年10月から地区の回覧配布物を掲載する等、住民目線に立った改善を進めている。公民館のページも見やすさや掲載頻度等、一定の統一感を持つ必要があるのではないかと考える。 (2) 目的 動画作成のポイントや編集方法を学び、公民館事業の情報発信を積極的に行えるようにする。 また、他地区のホームページ作成方法を学び、情報共有を図り、自館のホームページの拡充を目指す。 2 研修 (1) 動画作成について ア 「動画作成について」（講師：秘書広報室 左治木 佳奈子主任） イ 「動画編集について」（今井公民館 宮澤） （講師：館報全市版編集委員 工藤 太陽 氏） ウ 「動画アップロードについて」（中央公民館 大和主事） (2) ホームページ作成について ア 「ホームページ作成について」（松南地区公民館 伊藤主任）

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>イ 「ホームページ紹介」</p> <p>(3) グループワーク</p> <p>3 事務連絡</p> <p>(1) おでかけオルガン事業の活用について (音楽文化ホール)</p> <p>(2) 市民タイムス「みんなの掲示板」の活用について (市民タイムス)</p> <p>(3) フューチャーデザインワークショップへの参加について (中央公民館 平林)</p> <p>(4) まちづくりの集いについて (実行委員会事務局 平林)</p> <p>(5) 選挙関連・政治団体等への貸館について (中央公民館 土屋)</p> <p>4 10分間情報発信 (神林地区)</p>
19	2/9(木) 13:30~17:00 中央公民館	26	<p>テーマ：共生社会の実現に向けた公民館活動</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 松本市では「ユニバーサルデザイン推進基本指針」を策定し、誰もが生活しやすい環境・まちづくりを推進している。公民館は、誰もが利用できる身近な場所として、その事業や施設にユニバーサルデザインを取り入れることが求められるが、現状は利用に偏りが見られる。</p> <p>(2) 目的 障がいの有無や年齢・性別等にかかわらず、“すべての人々を対象とする”ユニバーサルデザインの視点や手法を学ぶことで、地域の多様な人々が一緒に楽しめる事業の企画・実施や、誰もが利用しやすい施設環境を整備するための能力を養う。 研修① ユニバーサルデザインの概念や実例を学ぶ。 研修② 誰でも取り組み、楽しむことができる工夫がなされたパラスポーツを実際に体験する。</p> <p>2 研修</p> <p>(1) 「ユニバーサルデザインについて講演」 (講師：一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会事務局長 渡邊 幸夫 氏)</p> <p>(2) 「パラスポーツ体験」 (講師：障がい者スポーツ支援センター松本指導員 矢崎 萌斗 氏)</p> <p>(3) グループワーク</p> <p>3 事務連絡</p> <p>(1) 県議選・市議選にかかる立会演説会等の施設予約について (選挙管理委員会事務局)</p> <p>(2) 公民館主事会アドバイザー設置等人材育成について (幹事会)</p> <p>(3) 塩尻市・松本市公民館合同研修会 (2月28日)の開催について (事務局)</p> <p>(4) まちづくりの集いについて (実行委員会事務局)</p> <p>(5) 町内公民館振興業務委託の報告書について (宮下主事)</p> <p>4 10分間情報発信 (庄内地区)</p>
20	3/10(木) 13:30~17:00 四賀公民館	26	<p>テーマ：「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」の総括</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 新型コロナウイルスの影響により令和2年度のまちづくりの集いは一部開催となり、令和3年度は開催方法を変更して開催された (分散開催、テーマ設定方法の変更)。初めて集いを経験した主事も多いため、集いの意義の再確認と次年度に向けた検証が必要と思われる。</p> <p>(2) 目的 社会教育・公民館に求められる役割と実践事例など、研修報告をふまえて、「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第37回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」を総括し、これからの地域づくりや公民館の役割を展望する。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(1) 長野県生涯学習推進センターからのお知らせについて ア 塩尻市公民館活動報告会 イ アフタフバーン信州 (2) 令和4年度当初開始予定の利用団体登録のオンライン申請対応について (3) デジタル活用支援事業相談員育成研修について 3 10分間情報発信（本郷地区） 4 研修 (1) 社会教育主事講習受講者の研修報告・質疑応答 (2) 「まちづくりの集い」の検証と次年度へ向けての討議 ア 報告・解説【30分】（幹事長、集会事務局） イ グループ討議（分科会ごとに）
特別	2/28(火) 16:00～17:30 中央公民館	8	テーマ：これからの公民館を担う人たちへのメッセージ「信州の公民館に学ぶ」 1 趣旨 長年、信州の社会教育、公民館や自治会について調査研究されてきた松田武雄先生が、今年3月末で松本大学を退職されるのを機に、 ①松田先生にとって社会教育とは何だったのか？ ②これからの公民館と自治会そして地域団体との関わりはどのようなのか？ ③これからの信州の公民館と職員へ期待することとは？ の3つの視点から、私たち公民館職員へのメッセージをこめ、ご講演をいただくもの。 2 講師 松本大学総合経営学部教授 松田 武雄 氏 3 開催形式 (1) 塩尻市・松本市公民館合同研修会として位置づけて開催し、松本市から公民館長・公民館主事、塩尻市から公民館主事、他に県生涯学習推進センター職員、松本大学教員が出席 (2) 松本市・塩尻市の両主事会事務局が企画
21	3/9(木) 13:30～17:00 寿台公民館	25	テーマ：「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第38回松本市公民館研究集会・令和4年度松本市地域づくり市民活動研究集会～」の評価と次年度に向けた意見交換 1 趣旨 (1) 背景 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」の開催に価値を見出せず、負担に感じるという意見を耳にする。また、公民館等の学びの分野は、すぐに成果が出るものでないためその役割や存在意義に悩むことがある（特に1～2年目の公民館主事）。毎年繰り返される悩み、知識や経験を無駄にしないために、公民館主事同士で経験に基づいた考えを共有し合いまとめておく必要がある。 (2) 目的 社会教育主事講習受講者の研修報告と「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」に至るまでの公民館研究集会の歴史や意義を再確認したうえで、今年度の集いを評価する。主事目線での評価や気づきを共有することで、ただの反省会に終わらせず、集い開催に対する認識や姿勢の再考および集会の改善に繋げる。また、今までの公民館業務の中で見出した「社会教育、公民館とは」という気づきを共有し合い、公民館主事としての核を改めて形成する場とする。 2 公民館長あいさつ（寿台公民館 坂井館長） 3 社会教育主事講習受講者の研修報告・質疑応答 （発表者：朝倉主事、分部主事、石原主事） 4 研修 (1) 「まちづくりの集い」報告・解説（事務局：平林主任）

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(2) ディスカッションの説明・移動 (3) グループディスカッション（分科会ごと） 5 事務連絡 (1) 公民館事業への活用提案について（丸山亜希氏） (2) 町内公民館館長会動画研修のアンケート結果について（宮下主事） (3) 令和4年度主事会会計決算見込みについて（羽田会計） 6 10分間情報発信(寿地区)
22	3/28(木) 13:30～17:00 中央公民館	25	テーマ：松本市公民館の今後の在り方を考える。 1 研修趣旨 (1) 背景 人口減少や役員の高齢化等により、縮小を余儀なくされている公民館活動。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、活動の中止を余儀なくされた今、改めて時代に即した公民館の在り方を考える時期ではないか。 (2) 目的 ア 「公民館の今後の在り方を考える検討委員会」（以下、「検討委員会」という。）をつくり、様々な立場の者が集まり協議を重ねている朝日村 イ その事例に触れることで、公民館の在り方については、多様な意見があることを認識すると同時に、理解を深め、多面的に捉える思考を養う。 ウ そのうえで、松本市の公民館が大切にしてきたことを確認しながら、松本市公民館の今後の在り方を考え、共有し、日常業務に生かす。 2 研修 (1) 趣旨説明 (2) 話題提供 ア 時代に即した公民館の在り方 ～朝日村の事例から～ 講師：上條 靖尚 氏（朝日村教育委員会教育次長。検討委員会事務局） イ 松本市の公民館が大切にしてきたこと 講師：高橋 伸光 氏（教育文化センター所長。前松本市中央公民館長） (3) パネルディスカッション ア ファシリテーター 白戸 洋 氏（松本大学総合経営学部教授。検討委員会有識者） イ パネリスト 上條 靖尚 氏、高橋 伸光 氏 (4) グループワーク 3 事務連絡 (1) コミュニティスクール事業について（小岩井主査） (2) 各地区町内公民館長会と地区公民館との連携について（宮下主事） (3) 地域づくりセンター長の権限について (4) 主事会プロジェクト令和4年度の進捗について（平林主任 他）

※ コロナ禍が落ち着いてきたことから、対面・集団学習の特長を生かした研修内容とした。

※ 主事会のつながり作り(チームビルディング)を図る研修として、屋外研修やレクリエーションの要素を取り入れた研修を実施した。

2 幹事会

全12回の定例幹事会を開催し、主事研修会の企画等を協議・検討した。

コロナ禍が落ち着いてきたことから、対面実施に戻した。

<主な協議事項>

4/7	令和2年度の主事会・幹事会の運営等	10/4	主事研修会企画
5/9	主事研修会(前期)企画	11/1	主事研修会企画
6/3	主事研修会企画	12/6	主事研修会企画
7/4	主事研修会企画	1/10	主事研修会企画
8/2	主事研修会企画、主事研修会(後期)企画	2/7	主事研修会企画
9/6	主事研修会企画	3/7	主事研修会企画、令和5年度の主事会計画案

※ 幹事の都合により、開催日時を8月以降、従来の第1月曜15～17時から、第1火曜14～16時に変更。公民館長会理事会と日時が重なることが多く、主事会→幹事会の2段階での検討が難しく、幹事と理事を同時に担っている地区では、両者が抜けることが難しく欠席することが多かった。要日時再検討

3 県・中信公運協関係、合同研修会など

- (1) 5/上旬 令和4年度長野県公民館主事総会 書面開催。令和4年度から総会と主事会を別開催
- (2) 9/29・30 第70回長野県公民館大会
(上田市交流文化芸術センター・上田市文化センター／兼第12回主事研修会)
- (3) 12/8 長野県公民館主事研修会
(塩尻市レザンホール・塩尻市総合文化センター／第16回主事研修会)
- (4) 12/15 令和4年度中信地区公民館運営協議会館長主事等研修会
「地域とともに創るまちづくり」(松本市第三地区公民館)
- (5) 2/19 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第38回公民館研究集会 令和4年度地域づくり
市民活動研究集会～
中央公民館での一会場開催に戻す。YouTubeを活用し四賀サテライト会場(分科会)実施

4 その他(親睦事業など)

歓送迎会・暑気払い・忘年会を企画するが、コロナ禍の影響により中止